

ハーバード便り

(第8号・2004年10月8日)

1. メジャー・リーグ

皆さんは『フィールド・オブ・ドリームス』という映画を見たことがありますか？この映画では、野球がアメリカの人々の心の故郷として描かれています。



夏休みの一日、私もアメリカの心の故郷を求め、野球観戦をしてきました。ボストンのホームチームは、レッド・ソックス。松井選手が活躍するヤンキースのライバルです。本拠地フェンウェイ・パークは、ハーバード大学から地下鉄で30分ほどの距離です。

記者席から。一段高い左翼は“Green Monster”と呼ばれます。

フェンウェイでは球場案内ツアーも開催されていて、1000円ほどの券を買うと、記者席やクラブ席を見ることができます。試合のチケット自体は、インターネットのレッド・ソックスのホームページで買うこともできます。

マスコットの「ウォリー」君も、試合前にベンチ横で一糸懸命ファンサービス！



この日アナハイム・エンゼルスと対戦したレッド・ソックスは、先発のカート・シリングの好投、3番打者マニ・ラミレスの2打席連続ホームランもあり、10対7と勝利をおさめました。

試合後、観客総立ちの中ベンチに戻るレッド・ソックスのサイン。

チャンスにもピンチにも、観客は一斉

に立ち上がり、精一杯の拍手で選手達を応援します。夏の一夜、ボストンの人たちとの一体感を味わったメジャー・リーグ観戦は、確かにアメリカの一つの原風景として、私の心に強く印象づけられています。

2. いよいよ新学期

さて、アメリカでは9月が新学年の始まり。ハーバード大学にも活気が戻ってきました。私もいくつかゼミや授業を取って最新の学術情報の収集に努めています。

授業に向かう学生で賑わうハーバード・ホール前です。



特に各大学院での講義には、卒業後すぐにアメリカをはじめ各国政府で活躍する官僚なども出席しており、議論の最中も一瞬たりとも気を抜くことが出来ません。私も毎日遅くまで準備をして、翌日の授業に備えています。



もちろん、新学期の風景には、アメリカでも日本でも変わらないところもあります。例えば、学生にとってお金は出来るだけ節約したいもの。ということで、中古教材の販売も行われていました。

中古教材の売出し。青い箱は再利用可能なゴミを出す際に使われている

もので、中に教材が詰め込まれています。



他にも、構内の掲示板を見ると、サークルの勧誘ビラがたくさん貼り付けられています。ハーバードの学生も、アメリカ式の厳しい大学生活の中、プライベートではやはり気分転換をして、楽しい大学生活を送りたいなのでしょうね。

右はビラでいっぱいになった掲示板です。日本人留学生向けに英会話教室のビラも貼ってありました。

(ハーバード大学客員研究員 早川誠：mhykw@ris.ac.jp)